



朝日の出 (西林寺 経蔵と客殿)



西林寺だより

発行元
西林寺門徒総代会
広島県安芸郡坂町
坂東3-14-17
(082)885-0018
i タウンページ
西林寺

杖のことば
人生が
行き詰る
のではない
自分の思いが
行き詰るのだ

普蔵造営の経蔵



「特留此
百歳」が
刻まれて
います。

普蔵勧学と大瀛和上(6)

「諸国の同志より芸州の苅園和上(大瀛)を正法護持の大将の本陣」と崇められた大瀛の功績は、その後の安芸地方の法義発展に多大な影響を与えました。仏教の研鑽を志す多くの僧俗のために、多くの学寮が創出され、仏教書籍の保管のために造営された経蔵の数は、他の地方のお寺では類を見ないほどです。

大瀛没後、その所蔵する遺書(大瀛が遺した書籍)は、末代の法義繁盛を願った大瀛の遺志に従い、散逸することなく、その弟子に引き継がれました。まず大瀛の開いた学寮の寮頭である道命(三高・徳正寺)・道振(本郷・寂静寺)を経て、その没後、学頭であった西林寺普蔵のもとに引き継がれ、西林寺の経蔵内で今日まで管理されています。

経蔵の扉には、み教え(經典・書籍)が永遠に引き継がれることを願って、『仏説無量寿経』の一節、

仏教壮年会 あれこれ

結成50周年記念式典

10月24日(土)西林寺本堂でこないました。当初3月に行う予定でしたが、5月に更に9月にと新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、やっと開催することができました。

祝賀会やアトラクションも企画していましたが、コロナの終息が見えない中、記念式典のみ開催となりました。3月には60名参加予定でしたが、人数制限させていただきました。



永年会員並び功労のあった皆さまが表彰されました。

右から

- 幸野輝彦氏
- 藤田 榮氏
- 二井矢充氏
- 久本孝昭氏

境内 松の木剪定作業

10月26日から始まった剪定作業は、約2週間の時間を費やしました。秋の剪定作業は時間を要します。剪定作業員を今後増やしていく必要があるようです。ご協力お願いします。



仏教壮年会行事予定

- 一月 十三日(水) 御正忌前おみぎ
 - 二月 六日(土) 安芸教区公開講座
- ※安芸北組の研修会は中止です。

法座案内

御正忌報恩講

- 一月 十五日(金) 昼席より
- 十六日(土) 昼席まで
- 『御伝鈔』上巻拜読 十五日夜席
- 下巻拜読 十六日昼席
- 講師 安佐北区深川 明光寺 牛尾かおり 師

御紐解法座

- 二月 二十一日(日) 昼席より
- 二十二日(月) 昼席まで
- 講師 住職 自勤

春季彼岸会

- 三月 十九日(金) 昼席より
- 二十一日(日) 朝席まで
- 講師 呉市蒲刈町 浄泉寺 東元 晃菴 師

朝席7:00～・昼席13:15～・夜席19:30～

編集後記

「天災は忘れた頃にやってくる」といいますが、昨今は忘れる間がなくなってきました。コロナ禍の終息が待たれますが、何の心配もなく、ご法座やご法事を勤めていたことが当たり前ではなく、有難いことであったと、今更ながら思われます。

聞思録(もんしらく)

最近、周りで若いお連れ合いが癌になられた方やお子さまを亡くされた方等、受け止め難い深い苦悩と悲しみに困惑していらつしやるお方の姿を拝見しながら、掛ける言葉もみづからず悶々とする中、「杖のことば」の「人生が行き詰まるのではない、自分の思いが行き詰まるのだ」をしみじみと噛みしめています。また、新型コロナウイルス感染症は、未だに終息の兆しが見えません。不安や恐怖を感じながらの日常に多くのことを考えさせられます。どちらも私の力ではどうにもできない難事です。

僧侶であり、教育者でもある東井義雄師の詩集に次の一節があります。

雨の日には 雨の日にししか聞かせていた
 雨の日には 雨の日にししか聞かせていた
 雨の日には 雨の日にししか聞かせていた

言葉を越えたご説法がある

老いの日には 老いの日にししか聞かせて
 いただけに 老いの日にししか聞かせて
 いただけに 老いの日にししか聞かせて

病む日には 病む日のご説法がある

降る雨を恨めしく思った経験は誰にでもあることでしょう。それは雨が降っても自分の都合の良いように行動したい願望が雨を疎ましく感じてしまうのです。雨は「私の都合(思い)」にあわせてはくれません。東井先生は思い通りにならない現実が仏さまからのご説

法を届けてくださるといただかれています。時として思い通りにはならない現実を、我が人生と引き受けて、大切なご縁と受け止めてゆくところに行き詰まることない人生の地平が開けてくるのです。雨の中にありながら、雨と向き合おうとしない生き方は、人生を空しいものにしてしまいます。

キリスト教の敬虔なシスターで有名な渡辺和子師は人生と宗教の関りについて「私たち一人ひとりの生活や心の中には、思いがけない穴がポツカリと開くことがあります。そこから冷たい隙間風が吹くことがあります。それは病気であったり、大切な人の死であったり、他人とのもめごと、事業の失敗など、穴の大小、深さ、浅さもさまざまです。その穴を埋めることも大切かもしれませんが、穴が開くまで見えなかったものを、穴から見るということも、生き方として大切なことです。(中略) 宗教というものは、人生の穴をふさぐためにあるのではなく、その穴から、開くまで見えてこなかったものを見る恵みと勇氣、励ましを与えてくれるのではないのでしょうか」といだけかれています。今こそ、このことを改めて深く心に留めてゆかねばなりません。何があっても現実から目をそらさず、引き受け、前向きに生きてゆきたいものです。その私をいつも見守っていてくださるはたらき(仏さま)と一緒に。

法座のお手伝い

真宗門徒にとって、一番大切な営みは、み教えを聴聞することです。西林寺では、毎年十座のご法座が開かれます(仏教婦人会報恩講は除く)。

法座の前には仏教婦人会の皆さまによる清掃奉仕や、仏教婦人会と仏教壮年会の有志の皆さまによる内陣仏具のおみがき(年2回)をお願いしておりますが、法座中の帳場(御法札の受付)や幕張、法務員と合同での法座後の片付けや清掃等を、次の皆さまにお手伝いいただいております。



右より
 奥谷 義信氏
 黒田 康也氏
 高下 護氏
 植花 富皇氏
 渡子 昭弘氏
 榎尾 耿之助氏

いつもありがとうございます。

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため再延期されておりました本願寺専如門主法統継承と西林寺客殿改修落成の記念法要を5月2日(日)に修行了いたします。記念行事である帰敬式(法名をいただく儀式)を5月1日(土)に執り行います。また、5月2日(日)の記念法要に出仕いただく稚児を募集いたします。

別紙差し込みで、申込案内をお手元にお届けしました。また、すでにお申込み済の皆さまには、こちらから追って、ご案内いたします。

出来得る限りのコロナ対策を講じますので、このまたとないご縁に、万障繰り合わせてご参画いただけますようご案内申し上げます。 合 掌

帰敬式	集合時間	12時30分予定
場 所	西 林 寺 本 堂	
申込締切	令和3年1月末日	
稚児出仕	集合時間	9時30分予定
集合場所	中央公園(中村地区)	
冥加金	金7千円	
申込締切	令和3年2月末日	

仏教婦人会 あれこれ

仏教婦人会主催報恩講

報恩講は宗祖親鸞聖人のご法事で、真宗門徒にとつて1年でもっとも大切な行事です。

今年も11月18日(水)〜20日(金)までご住職を講師にお迎えし勤まりました。3密対応に心がけて、できる限りのコロナ対策を講じての法座でした。



「お斎」を中止しましたが、延べ200人の皆さまに聴聞していただきました。報恩講の大切さを学び、み教えをありがたくいただき、日々手を合やすことを飲むご縁となりました。

仏教婦人会行事案内

一月十三日(水)
 御正忌前おみがき

二月十四日(日)
 ダーナの日

※三月予定の念仏奉仕団本山
 参拝は中止します。

別院清掃奉仕

11月30日(月)安芸北組仏教婦人会の広島別院の境内清掃に参加しました。報恩講前に毎年行われる行事です。

今年もコロナ禍で参加者も少ないように感じました。寒い中、広い本堂内や廊下の清掃を行い、参加できたことに感謝しました。

仏花研修会

10月5日(月)仏婦理事会に続き、お仏壇にお供えする生花の活け方の研修会を開催しました。坊主さまにご講師をお願いし、基礎をしっかりと教えていただきました。約1時間ほどで活けることができました。

完成した仏花をみんなで感想など話し合っって大事に持ち帰り、如来さまにお供えしました。次回は会員の皆さまにもお声をかけますのでぜひご参加ください。

